

2017年8月17日

報道関係各位

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

2017 年度「PRアワードグランプリ」 9 月 1 日からエントリー募集開始

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：近見竹彦）は、2017 年度「PRアワードグランプリ」のエントリー募集を開始いたします。

PRアワードグランプリは、一般企業の広報部門やPR会社が実施するパブリックリレーションズの事例を広く募集し、審査を通して優秀な活動を表彰・公開するもので、日本のコミュニケーション技術の質的向上とパブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目指しており、2001年にスタートしてから本年度で18回目※を迎えます。

今年度も昨年に引き続き、“プロによる選考”に重点を置き、PR業務の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。さらに、今年度はエントリー開始の9月1日から9月29日までのエントリーに関して、通常エントリーの半額のエントリー料で応募いただける「早期エントリー制」を導入し、応募層の拡大を図ります。

スケジュールは、2017年9月1日（金）から募集を開始し、早期エントリー締切は2017年9月29日（金）、最終エントリー締切は10月24日（火）17:00 必着です。

エントリー方法・エントリーシートのダウンロードなどについては下記 URL をご確認ください。

http://prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2017_award

※ 2001年度は2回開催

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

●この件に関するお問い合わせ
公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
担当： 福家・渡邊・木崎
TEL： 03-5413-6760

「PRアワードグランプリ」募集概要

◇ 趣旨

パブリックリレーションズの活動事例を広く募集し、審査を通じて優秀な活動を表彰・公開し、日本のコミュニケーション技術の質的向上に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図る。

主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

後援：経済産業省・日本広報学会・公益社団法人 日本広報協会

◇ エントリー案件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動
(現在も継続中であれば過去のエントリーも可)

◇ 対象期間

最近1年間に成果が上がった活動
(複数年にわたり現在でも継続している活動も含む)

◇ 応募部門（5部門）

■ コーポレート・コミュニケーション部門

社会の支持と理解を得て、企業・公共機関・団体の活動を円滑に推進するためのコミュニケーション活動

※ 日常的な広報・PR活動、ブランディング、レピュテーションマネジメント、危機管理対策など

■ マーケティング・コミュニケーション部門

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

※ イベント・キャンペーン、パブリシティ、ウェブサイト、ソーシャルメディア、各種アプリ、カスタマーリレーション施策など

■ ソーシャル・コミュニケーション部門

社会の重要な構成員として企業・公共機関・団体の果たす社会的役割の訴求や社会貢献をはじめ、積極的に社会の発展や環境の維持発展などを目的としたコミュニケーション活動

※ CSR活動、環境コミュニケーション、NPO、NGO活動など

■ インターナル・コミュニケーション部門

組織内における所属員へのビジョンの浸透、価値観の共有、行動喚起、内部コミュニケーションの活性化など、インターナル・ターゲットに対する広義のコミュニケーション活動

※ 内部向けコミュニケーションシステム、ツールの開発、継続的な内部向けイベントメディアを通じた活動など

■調査・研究部門

独創的なアイデアや手法で広報・PR領域における調査研究・理論構築を行い、業務の発展に寄与貢献した活動

※PR領域における調査・研究活動とその理論化・情報発信、PRパーソンの人材育成、業務マネジメント、およびサービス・技術・システム・ツールなどの開発や実践

- ◇ 募集期間 : 2017年9月1日(金)～2017年10月24日(火) 17:00 必着
早期エントリー締切: 2017年9月29日(金) までの
受付記録があるもの
最終エントリー締切: 2017年10月24日(火) 17:00 必着

◇ エントリー方法

- ① 「PRアワードグランプリ」 エントリーフォームに必要事項を入力し、エントリーシートを添付して登録。
- ② エントリー完了後に、エントリー料の請求書を送付。
2017年11月15日(水)までにお振込みをお願いします。

詳細は下記 URL をご確認ください

→ http://prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2017_award

◇ エントリー料

早期エントリー: 10,800円/1エントリー (消費税込/振込手数料別途)

最終エントリー: 21,600円/1エントリー (消費税込/振込手数料別途)

◇ 審査方法

グランプリ候補選出審査、グランプリ選出審査の2つのステップを通じて、厳正に審査を行う。

1. グランプリ候補選出審査 (11月中旬予定)

審査員団が全エントリーを審査。

グランプリ候補、それに準ずるエントリーを選考。グランプリ候補はグランプリ選出審査会(12月6日)でプレゼンテーションを実施していただきます。

2. グランプリ選出審査会

日時: 2017年12月6日(水) 13:30～18:00 (予定)

会場: 六本木アカデミーヒルズ 49 「オーディトリウム」

グランプリ選出審査会では、グランプリ候補選出審査を通過したエントリーについて

て、各応募企業・団体がプレゼンテーションを実施。

審査には、グランプリ候補選出審査の審査団に加え、特別審査員が加わり、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」の各賞を決定します。

◇ 表彰

- 「グランプリ」 : 1点 (トロフィーを授与)
- 「ゴールド」 : 2点 (トロフィーを授与)
- 「シルバー」 : 5点 (トロフィーを授与)
- 「ブロンズ」 : 7点 (表彰状を授与)

<審査委員会> (敬称略、50音順)

■審査委員長 嶋 浩一郎(株式会社博報堂ケトル 代表取締役社長・共同CEO)

■審査委員(8名)

雨宮 和弘(クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役)

上岡 典彦(株式会社資生堂 コーポレートコミュニケーション本部広報部長)

遠藤 祐(株式会社オズマピーアール 取締役副社長)

小林 右樹(一般社団法人企業研究会 研究協力員)

高梨 修(公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 顕彰委員会 委員)

／ホヌ プランニング 代表)

中里 忍(ブルーカレント・ジャパン株式会社 戦略PRプランナー)

松本 洋司(株式会社電通パブリックリレーションズ 関西支社 次長)

吉宮 拓(株式会社プラップジャパン 執行役員 第2コミュニケーションサービス本部 本部長)

■特別審査委員(グランプリ選出審査会に参加)

阿久津 聡(一橋大学大学院 国際企業戦略研究科教授)

大宅 映子(ジャーナリスト・評論家・コメンテーター)

田中 里沙(事業構想大学院大学 学長／宣伝会議 取締役メディア・情報統括)

◇ その他

「PRアワードグランプリ」上位入賞者は下記をはじめとする協会活動にご協力いただきますので、ご了承ください。

- ① 協会Webサイトで受賞者の発表および活動内容の紹介(エントリーシート
の公開を含む)。
- ② 協会出版物(「PR Yearbook」「協会ニュース」など)にて受賞者の発表および
活動内容の紹介。
- ③ 協会主催のセミナー等で、エントリーの活動内容の紹介をしていただく場合
があります。

- ④ 今後のPRアワードグランプリなどに関する告知・啓発活動にご協力をお願いする場合があります。
- ⑤ 展示会へのパネル出展にご協力いただく場合があります。

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」受賞作品一覧（会社名は当時）

2016 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)井之上パブリックリレーションズ	スマートフォン(スマホ)での領収書電子化と原本の長期間保管義務撤廃を実現する規制緩和プログラム ～日本企業の利益率とビジネスパーソンの生産性向上を阻害する紙での経費精算業務を駆逐し、働き方革命実現へ～
ゴールド	学校法人近畿大学	PRのチカラでウナギの絶滅を防げ！「近大発ナマズ」の研究・広報一体化コミュニケーション戦略
	(株)博報堂 (株)エムスリー・カンパニー	カルビーフルグラ 2011 年から 2015 年度までの 5 年間で売上 37 億→223 億まで成長させた朝食革命
	(株)電通	森永製菓「フレフレ、部活。母校に in ゼリー」キャンペーン
	(株)電通パブリックリレーションズ (株)電通 電通アイソバー(株)	LOVE THERMO #愛してるで暖めよう
シルバー	(株)ポーラ・オルビスホールディングス	『美姿伝』90歳を越えても美しく働き続ける11人の物語～ポーラ、ビューティーディレクターの仕事への「誇り」「やりがい」を醸成する取組み～
	関市 (株)オズマピーアール	SEKIシティプロモーション
	(株)オズマピーアール	心臓病の子どもたちの“初めての運動会”～Challenging Heart Day～
	(株)アサツー ディ・ケイ	ADK RECRUIT 2017 相棒採用
ブロンズ	日本放送協会	プロフェッショナル私の流儀～NHK 番組公式ジェネレーターアプリ～
	(株)電通	ソーシャルメディア時代の“技術訴求コンテンツ PR”プリウス部品の擬人化キャンペーン『PRIUS! IMPOSSIBLE GIRLS』
	(株)大広	『心止村湯けむり事件簿 AED サスペンスドラマゲーム』～ユーザーとメディアが自ら広め続ける「エンタメコンテンツ PR」～
	(株)博報堂	奈良大学 全学学生プロジェクト 美し記～utsukushiki～
	(株)電通	10 分どん兵衛
	(株)博報堂 (株)博報堂DYメディアパートナーズ	広告会社だからこそその休暇取得促進施策「BRUTUS 特別編集フリバカノカタログ」
	(株)資生堂 (株)博報堂ケトル	世界初！オンライン会議システム×メーキャップシミュレーター機能で、オンライン会議のためだけのメイクから在宅勤務女性を開放する新アプリ「TeleBeauty(テレビューティ)」発表。
	(株)プラップジャパン	アキュビュー® スポ×コン応援団「読めない看板」
	Airbnb Japan(株) (株)プラップジャパン	企業サービス浸透プロジェクト「史上初、Airbnb で東京タワーに泊まろう！」
	(株)電通	Second Life Toys

2015 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	カゴメ ウェアラブルトマトプロジェクト
コーポレート・コミュニケーション部門	学校法人 近畿大学	近畿大学 知と汗と涙のコミュニケーション戦略
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)電通	ロッテ ガム市場の活性化 PR “噛むチカラ”の復権！ウェアラブルデバイス『リズムカム』
ソーシャル・コミュニケーション部門	(株)アサツー ディ・ケイ	つくば市総合運動公園建設計画の是非を問う PR プロジェクト
イノベーション／スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	産学連携:危機管理イノベーション・プロジェクト ～危機事象についてメディアと企業のギャップを調査し、新たな危機管理フレームワークを開発。 日本企業の危機管理をデータ・ドリブンなソリューションへと進化させた。危機管理の取り組みが企業の成長を後押しすることが明らかに～

2014 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通	「地方の生産者と、都市の生活者との断絶を克服。世界初の食べる月刊情報誌「東北食べる通信」 創刊&ブランディング作業」
	ファイザー(株) (株)オズマピーアール	「ピリピリ！ジンジン！チクチク！見えない痛みどう伝える？産学共同プロジェクト『オノマトペラボ』 「痛みのオノマトペ」で医療現場におけるコミュニケーション課題を解決」
コーポレート・コミュニケーション部門	旭硝子(株)	「世界最高峰のスポーツイベントFIFA W杯で、史上初のガラスベンチルーフのライセンス権獲得と戦略的PR展開による低予算での全社的なAGC旭硝子グローバルブランディング・プロジェクト」
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)伊藤園 ピーアールコンビナート(株)	「伊藤園お～いお茶新俳句大賞の25年(四半世紀)」
イノベーション／スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	「広報オクトパスモデル開発 上場企業の広報力比較調査 ～広報業界のさらなる発展をめざして～」

※なお、2014 年度はグランプリが 2 作品ともソーシャル・コミュニケーション部門より選出されたため、同部門最優秀賞は該当なしとなりました。

2013 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)TBWA 博報堂／(株)博報堂	「土のフルコース」プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション
コーポレート・コミュニケーション部門	東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会	東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動
マーケティング・コミュニケーション部門	アッヴィ(同) エーザイ(株)	10 月 29 日「世界乾癬デー」啓発イベント『“美容師の卵”がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』
ソーシャル・コミュニケーション部門	(株)ワカゾウ	選挙割(センキョ割)
イノベーション／スキル部門	(株)博報堂	「転載」を活用した中国での科学的PR手法

2012 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	もっとクロス！計画 ～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～
コーポレート・ コミュニケーション部門	大阪市交通局／(株)博報堂／(株)大広 ／(株)オズマピーアール	「元気な大阪」体験取材プログラムで5つのWIN それいけ！ OSAKAはっけん隊
マーケティング・ コミュニケーション部門	(株)電通／森永製菓(株)	森永製菓「森永甘酒」のための甘酒市場 活性化を目的としたPR活動
ソーシャル・ コミュニケーション部門	ブルーカレント・ジャパン(株)	熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の認知 向上 教えて！「かくれ脱水」委員会

2011 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	議会広報紙のイノベーション ～さいたま市議会「ロクマル」の 挑戦～
コーポレート・ コミュニケーション部門	(株)オズマピーアール	宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮プライド ～100 年先も誇れるまちを、みんなで～
マーケティング・ コミュニケーション部門	(株)電通 関西支社／(株)電通パブリッ クリレーションズ 関西支社	「アイスの実」キャンペーン 2011PR活動
ソーシャル・ コミュニケーション部門	セカンドハーベスト・ジャパン	被災地 石巻へ食糧配給拠点立ち上げ ～東日本大震災直後 からの支援活動～
イノベーション部門	(株)博報堂	「マーケティング 3.0=世の中と企業が価値を共創する時代」 のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリ ーイレブンプログラム」

2010 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	小林製薬(株)	小学校のトイレピカピカ計画 ～企業・NPO・行政が一体となっ た小学校のトイレ環境を改善する活動～
コーポレート・ コミュニケーション部門	キッコーマン(株)	キッコーマン上海万博プロジェクトによる日本食文化の発信
マーケティング・ コミュニケーション部門	(株)ワコール (株)インテグレート	ワコール エイジングケア啓発プロジェクト ～日本人女性の下 着選びの意識を変えたIMC戦略
ソーシャル・ コミュニケーション部門	(株)TMオフィス	畳新市場開拓プロジェクト「畳ドクター」認定による畳の復興PR 戦略
スキル部門	(株)電通 (株)電通パブリックリレーションズ	PR効果分析ツール「PR@NET SCOPE」(プラネットスコープ)

2009 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	北海道米ブランド創造プロジェクト
日常広報活動部門	(株)電通パブリックリレーションズ	牛乳供給危機 ～30年ぶりの乳価値上げを目指したPR活動
キャンペーン部門(単年度・ 単発型)	(株)arex	事故米の風評被害を受けた食品会社のレピュテーション回復 のための危機管理広報
キャンペーン部門(複数年 度・継続型)	エム・エム・エス・コミュニケーション ズ(株) MS&L	夕張市再生支援・「夕張夫妻」プロジェクト
イベント部門	(株)電通パブリックリレーションズ	日本農産物について中国のバイヤーからの認知獲得をめざし たPR活動
ツール・スキル部門	(株)野村総合研究所	生活者視点による、新しい広報・PR効果測定サービス(ツール) の提供

2008 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	10年ぶりの改訂『広辞苑第6版』発売PR ～ネット全盛時代に「紙の辞書」の有用性を語る～
日常広報活動部門	(株)コムデックス	『魚鱗癬』の啓発活動
キャンペーン部門	日本ミシュランタイヤ(株)	『ミシュランガイド東京』発刊へのPR活動
イベント部門	ピーアールコンビナート(株)	ケルヒヤー『松田川ダム エコ・アート』プロジェクト
スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	『数字に見る医療と医薬品』(年刊)発行

2007 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)	女性が働きやすい社会をめざして ～ダイバーシティ推進と女性活用からの学びを通じた社会貢献～
ルーティン活動部門	ピーアールコンビナート(株)	ロッテの四半世紀にわたるチューインガムの社会的価値向上活動
キャンペーン部門	キッコーマン(株)	キッコーマン アメリカ進出 50周年プロジェクト
スキル部門	(株)タカオ・アソシエイツ	広報・危機管理マニュアルの作成・発行

2006 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	ファイザー(株)	喫煙者の禁煙意識向上とニコチン依存症の疾患啓発活動
ルーティン活動部門	帝人(株)	帝人グループの認知度向上プロジェクト
キャンペーン部門	(株)電通	牛丼復活に対するコミュニケーション活動
スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	中心市街地活性化に係る国民への広報のあり方に関する調査研究

2005 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	地球温暖化防止「国民運動」
ルーティン活動部門	小林製薬(株)	更年期障害の啓発と「命の母」のPR活動
キャンペーン部門	(株)プラップジャパン	食物繊維の新たな機能「ファイバーデトックス」を訴求するコミュニケーション活動
スキル部門	(株)電通	報道レピュテーション分析プログラム

2004 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)オズマピーアール	「えひめ町並博 2004」PR 活動
ルーティン活動部門	(株)電通パブリックリレーションズ	痴呆症啓発のための調査研究プロジェクト
キャンペーン部門	日本ゼネラル・エレクトリック(株)	『地域に役立つ発明家になろう』プロジェク
スキル部門	(株)高雄宏政事務所	広報効果測定のための報道記事分析の開発
	(株)博報堂	子どもたちの国際理解のために『日本・中国・韓国の昔話集』1～3巻を作りました

2003 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	トヨタ ラウム ユニバーサルデザイン広報
準グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	『JICA 有名化計画』独立行政法人化・広報支援プロジェクト
準グランプリ	松下電池工業(株)	インターネットを使った「遠隔 電池教室」

2002 年度

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	浦安市 ごみ減量・リサイクル啓発プロジェクト
優秀賞	(株)オズマピーアール (株)博報堂	丸ビルグランドオープニングを中心とした年間広報活動
優秀賞	(株)電通	カレー再発見フォーラム

2001 年度(秋)

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	ピーアールコンビナート(株)	「伊藤園 お〜いお茶 新俳句大賞」
優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	ノバルティス「すこやか 5 世代」キャンペーン 2001
優秀賞	伴ピーアール(株)	近畿 1400 万人の飲み水を美しくするヨシ。その琵琶湖 ヨシの保護と活用。

2001 年度(春)

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	(株)博報堂	「納豆 金のつぶ におわなっとう」キャンペーン
優秀賞	ピーアールコンビナート(株)	「ロッテ しっかり噛んで健康家族」
優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	食のスマートライフ実現のための調査・広報活動

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）は、1964年に結成された日本PR協会と1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む約530名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益法人の認定を受け公益社団法人となりました。

主要な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」の刊行、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞 PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与し奨励に値する成果を収めた人物を表彰する「日本PR大賞 PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の普及と啓発、広報・PRスキルの向上などに取り組んでいます。

2007年には、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など幅広い人々に「認定PRプランナー」としての資格を付与しています。

また2009年には、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を新たに開講いたしました。

2010年4月に「広報・PR概論（PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト）」、2011年3月に「広報・PR実務（PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト）」、2012年4月に「広報・PR 資格試験問題集 PRプランナー資格認定制度 1次・2次・3次試験過去問題集」を出版するなど、各種の事業を通じて、広報・PRの普及と発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F
TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147